

DAWN 通信

第22号

2015.10

★特集

女性就労支援事業への取組

- 財団ホームページ全面リニューアル
- イコラーム情報
- 平成27年度事業受託・講師派遣等実績

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団（愛称：ドーン財団）は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる、真に豊かな社会の実現に貢献します。

女性の就労支援事業について

ドーン財団では平成6（1994）年の設立以来、男女共同参画の視点を持って女性の就労支援事業を実施しています。情報ライブラリーでは平成24（2012）年に女性就労支援コーナーを設け、結婚や出産で仕事を中断した後に再就職を希望する人を対象に、情報提供やキャリアカウンセリングを行ってきました。また、平成26（2014）年度は、内閣府「地域女性活躍加速化に係る交付金事業」を実施したところ、職場における固定的な性別役割分担が根強く残っていること、働く女性と上司や経営者の間でキャリア形成を踏まえたコミュニケーションができていないこと等が明らかになりました。そしてこの結果は、キャリアカウンセリングの中でもあがっており、まだまだ男性中心の社会構造が変わっていないことがより鮮明になった、といえると思います。

働くことや働き続けることに困難が付きまとう「シングルマザーのためのはなみずきセミナー」では、仕事と子育ての両立、お金の管理や制度等について学び、考える場を提供してきました。シングルマザーゆえの孤立化や経済的な困窮等については、地域資源の不足や明確な解決策が見つからないこと等、財団としても考えさせられることが多々あります。

平成27（2015）年度は、平成26年度補正予算「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」（経済産業省中小企業庁事業）を受託し、女性の復職・就業支援セミナーや人材マッチングを実施していますが、今まで財団が培ってきた自治体との連携を活かし、より地域に寄り添った形で進めています。さて今、女性の活躍推進が、国家目標として掲げられ、様々な組織で取り組まれています。管理職の登用率や女性たちのネットワーキングもとても重要ですが、暴力被害等の複雑で困難な課題を抱え、頑張りたくても頑張れない女性たちの存在を忘れてはならないと思います。そして少しでも彼女たちの社会復帰を応援することが、子どもたちへの貧困の連鎖を止め、生き方の選択肢をひろげることになると確信して「はなみずき女性支援センター」を創設しました。皆さまのご協力とご支援をお願いいたします。

ドーン財団
（一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団）
業務執行理事 白井文

ただいま、情報発信中！

財団ホームページ

<http://www.dawn-ogef.jp>

Twitter

https://twitter.com/O_G_E_F

特集 女性就労支援事業への取組

ドーン財団は平成 27 (2015) 年度に、平成 26 年度補正予算「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」(経済産業省中小企業庁事業)を受託しました。これまで続けてきた女性就労支援事業のノウハウとネットワークを活かし、企業、ハローワーク、大阪府内女性/男女共同参画センターと連携して、より総合的に女性の就労をサポートしていきます。

(財団ホームページ <http://www.dawn-ogef.jp/information/2015/09/post-100.html>)

◆仕事準備セミナー

⇒働きたいと思う女性を応援するセミナー

子育てやコミュニケーション術、セルフケアなど身近なテーマから、その先の“しごと”を意識する内容です。

【テーマ】子育て、メイクアップ、コミュニケーション、セルフケア、マナーなど

【開催場所】

いずみさの女性センター(レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター)/大阪府立男女共同参画・青少年センター/岸和田市立女性センター/四條畷市市民総合センター/とよなか男女共同参画推進センター/東大阪市立男女共同参画センター/枚方市男女共生フロア・ウィル

◆企業とのマッチング

⇒短期職場体験

短期の職場体験を行い、働くことへの自信をつけます。

⇒社員と取り組む企画会議

女性の働きやすい職場づくりについて女性社員とともに企画し、アイデアを発表します。

⇒人事担当者と女性活躍を学ぶ

企業の人事担当者とともに、女性が活躍できる条件や制度を学びます。

◆キャリアカウンセリング

⇒グループ・キャリアカウンセリング

同じ目標を持つ仲間と情報交換し、就職決定を目指します。

⇒個別・キャリアカウンセリング

就職活動中の悩みを相談できます。

平成 26 年度補正予算「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」(経済産業省中小企業庁事業)

シングルマザーの応援フェスタ

生活や仕事、子どものことなどでいつも頑張っているママの疲れを癒して、自分を大切にする方法を学びます。リラクゼーションコーナーや、働くときに役立つ情報の提供、仕事のことを相談できる窓口も紹介します。希望者には就職活動や仕事に使えるスーツをプレゼント。

MIZUHO

みずほ社会貢献ファンド
(役員募金)

シングルマザーのための「はなみずき」セミナー

仕事と子育ての両立や自分らしい働きかたについて、先輩シングルマザーの様々な経験談やアドバイスから学びます。また参加者同士で語り合うことで、一歩前に進むきっかけを見つけられるセミナーです。

ACCJ (在日米国商工会議所)
関西支部助成事業

はなみずきキャリア塾 キャリアトーク(ポッドキャスト)

ドーン財団で実施した、働く女性を応援するはなみずきキャリア塾の講師の方々へのインタビュー。仕事に就いたきっかけや現在までのキャリアの軌跡を語っています。

■財団ホームページで公開中
<http://www.dawn-ogef.jp/profile/podcast/index.html>

(協力: 関西アメリカン・センター/駐大阪・神戸米国総領事館)

●情報提供

⇒女性就労支援コーナー

(ドーンセンター情報ライブラリー)

就職活動に役立つ資料や女性が働き続けるために必要な情報を提供します。また、女性キャリアカウンセラーによるカウンセリングを実施しています。

大阪府受託事業

●研究報告

⇒女性活躍・ダイバーシティ推進

働く女性や経営者・管理職、そして相談に携わっているキャリア・コンサルタントや産業カウンセラーへのアンケートを通して、女性活躍の阻害要因を明らかにしました。

■アンケート結果は財団ホームページで公開中
<http://www.dawn-ogef.jp/media/voice.html>

平成 26 年度内閣府地域女性活躍加速化に係る交付金事業受託事業

平成 27 (2015) 年 7 月 財団ホームページを全面リニューアルしました！

サイトの構成を組み直し、財団の多様な取り組みをよりわかりやすく、より早くお知らせするホームページを目指します。

財団情報

財団の基本理念、沿革など基本となる情報をコンパクトにまとめました。

事業紹介

平成 6 (1994) 年から活動を続けてきた財団が手掛ける、他とは一味もふた味も違う事業を紹介。受託事業以外にも多くの自主事業を展開しています。

講座・イベント

財団事業の講座・イベントの参加募集のページです。財団ホームページからもお申し込みできます。

はなみずき基金

はなみずき基金は平成 20 (2008) 年 8 月、大阪府内に住む女性から当財団に贈与された寄附金を基に設置しました。その趣旨を尊重して、平成 27 (2015) 年 4 月から「はなみずき女性支援センター」を創設しました。すべての女性が、自分の人生を主体的に選択し、自立できることを応援します。ご協力・ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

賛助会と財団への寄附

当財団は自立化法人への衣替え（平成 22 年度）、一般財団法人への移行（平成 24 年度）という大きな変動期を多くの方々のご協力によって乗り越えてきました。財団の経営基盤を一層強くするため、賛助会へのご参加と寄付金を広く呼びかけています。



財団ホームページへのアクセス

→<http://www.dawn-ogef.jp>

ドーン財団

検索

活動実績

財団の受託事業、講師派遣、応嘱等の活動実績をわかりやすくご紹介します。年度ごとの活動実績をまとめた事業報告書『イヤーズレポート』を公開しています。

出版物・刊行物

財団発行のニュースレター『DAWN 通信』を読むことができます。また、財団オリジナル DVD・ブックレット・ハンドブックを紹介・販売しています。



学校教職員のための研修プログラム ＜平成 27 (2015) 年 7 月 31 日実施＞ 報告

『DVなど虐待のある家庭に育つ子どもたちの現実と対応を知る ～学校が被虐待児童・生徒にできること～』

申し込み開始時より大きな反響があり、広い会場に変更するなどして、当日は 86 人の教育関係者の皆さんが受講されました。前半では、ウィメンズカウンセリング京都の竹之下雅代さんが、DVの概要と虐待について、DVのある家庭で育った当事者である大学生との対談をまじえてお話をしてくださいました。後半は大阪教育大学の岡本正子教授に、学校が果たす役割や子どもの支援の方法等、具体的な対応の方法について講義していただきました。また、特別ゲストとして、岡本教授の教え子である高校教員が、学校現場での実践もあわせてお話くださいました。会場の皆さんからは、日頃の疑問を質疑応答でたずねたり、当事者の声を熱心にメモしたりする様子が見られました。「体験をまじえた具体的な事例と、総括的な学術面からの実践方法の両方からDVに対する応じ方を学ぶことができた」といった感想をいただきました。

民間企業等派遣研修員の受け入れ

ドーン財団では次世代育成事業の一環として、大阪府教育委員会の民間企業等派遣研修員を受け入れています。半年間の研修を振り返って、メッセージをいただきました。

感想

「男女共同参画」という普段なじみのない名称のこの財団に来て 6 か月。様々な講座や研修の事務を担当させていただくなかで、その範囲の広さと、その大切さに出会い、目からうろこが落ちるような衝撃を受けています。これまで、学校での子どもたちとの関わりの中で、「男の子やねんから、涙を見せたら…」、「もうちょっと女の子らしく…」等、自分が育つ中で何気なく言われてきた言葉を、そのまま「何気なく」子どもたちに伝えていたその「無意識のジェンダー差別の再生産」に衝撃を覚えました。男女共同参画を学校が教員がどう取り組んでいくのか、学校現場に戻って「子どもたちがもっと生きやすい社会とは？」を子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。

石住沙織 (大阪府内小学校教諭)

研修期間：平成 27 (2015) 年 4 月 1 日～9 月 30 日
男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラムや学校教職員のための研修プログラム等の事業を担当。

ピックアップ

情報ライブラリー「テーマ展示」

ドーン財団では大阪府受託事業として情報ライブラリーを運営しています。情報提供サービスの一つとして、ドーン財団の事業・相談と連携したテーマ展示コーナーを設置しています。講座や研修参加を目的にドーンセンターに来られた方に当ライブラリーを利用していただき、より一層充実した情報提供をめざします。

テーマ展示例

- 貧困・虐待・いじめ… 子どもの SOS を受けとめる
- 母と娘の関係を考える
- 男女共同参画施策に関わる職員のための参考資料
- 女性の活躍推進のために
- 大阪府不妊専門相談センター事業 サポート・グループ関連資料「妊娠・出産・不妊と生殖補助医療のいま」

このほかの展示資料のリストは、情報ライブラリーで配布するほか、ドーンセンターホームページからもダウンロードできます。

ドーンセンター≫情報ライブラリー≫テーマ展示
(<http://www.dawncenter.or.jp/thema/tenjitoshou.html>)





夏季インターンシップ・プログラムを実施

イコーラムでは男女共同参画社会の実現に向けて活躍する次世代を育成することを目的に、毎年、大学生をインターンシップ生として受け入れています。

平成27(2015)年度は近畿大学総合社会学部3回生の2人が9日間計48時間の「夏季インターンシップ・プログラム」に参加され、イコーラムの様々な事業を通して男女共同参画センターの役割や機能について学んでいただきました。

● 希来里ファミリーまつり

8月23日(日)にはイコーラムがある希来里ビル全館で「希来里ファミリーまつり」が繰り広げられました。このイベントは市民のみなさんにイコーラムを知っていただくきっかけになる年に一度のお祭りです。インターンシップ生は当日の運営だけではなく、ギャラリーの飾りつけや案内板等の作成等の準備から携わることにより、イベント運営の基本を体験していただく機会にもなりました。

当日は、ドーンセンターのインターンシップ生5人とともに、バルーンアートとイコーラムカフェで大活躍でした。また、ラグビーのまち東大阪市のキャラクターの一つ「トライくん」の着ぐるみにも入っていただきました。今年の来場者数は1,200人以上とイコーラムもたくさんの家族連れで賑わいました。



● 講座企画体験

イコーラムでは男女共同参画社会を推進するための様々な講座や講演会等を開催しています。タイムリーな課題解決に繋がり、しかも市民のみなさんに興味を持っていただける講座とはどのようなものなのか、インターンシップ生にも企画を体験していただきました。2人からは、「摂食障害」「男性の育児休業」をテーマにした企画が提案されました。最終日の成果報告会ではそれぞれの企画のプレゼンテーションについて、スタッフが感想やコメントを述べました。

その他、当財団理事長による講義「女性の活躍と日本の将来」や、日常業務体験、講座の準備や運営もプログラムに含めました。

今後も、東大阪市内の大学との連携事業の一環としても、インターンシップ生を受け入れたいと考えています。



(平成27年〈2015〉9月30日現在)

【受託事業】

■大阪府（府民文化部）男女共同参画推進事業に関する業務（～27年度）／（健康医療部）不妊専門相談センター事業／（商工労働部）母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練

■東大阪市／東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業（～29年度）

■内閣府／東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業／女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業／性犯罪被害者等のための総合支援モデル事業

■経済産業省中小企業庁事業／平成26年度補正予算「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」

■三重県伊賀市 ■大阪女学院大学・短期大学／近畿大学

【講師派遣等】

四條畷市／和泉市／同志社大学／京都府男女共同参画センター／大阪府立四條畷高校／国立女性教育会館／一般社団法人大阪青年会議所

【委員応嘱等】

全国女性会館協議会理事／田尻町人権擁護審議会委員／大阪府市町村振興協会評議員／大阪府立大学「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」外部評価委員／公正採用人権啓発推進センター認証審査委員／大阪弁護士会人権賞選考委員／門真市社会教育委員／交野市男女共同参画審議会委員／守口市男女共同参画審議会委員／四條畷市男女共同参画審議会委員／門真市男女共同参画審議会委員／門真市図書館協議会委員／国立女性教育会館「女性情報レファレンス事例集」サポートメンバー／国立国会図書館レファレンス協同データベース事業企画協力員／専門図書館協議会関西地区連絡会委員 等

【助成金を獲得した事業】

■在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部／働く女性のためのセミナー、シングルマザーのためのセミナー 等の開催

■みずほ社会貢献ファンド（役職員募金）



海外インターンシップ生からのメッセージ

女性支援の大切さを実感

アメリカにいる時に、新聞で女性活動を推進する政策に関する記事を読んで、それについてもっと知りたいと思っていました。もともとフェミニズムや女性問題に興味がありましたが、日本の女性問題についてよく知らなかったので、ドーン財団で働くことで色々なことを学びました。政府の支援は大事だと思いますが、ドーン財団が行う事業や講座に参加して、社会を変えるのは法律だけじゃないと気付きました。女性の支援に直接関わることの大切さを、ドーン財団の活動を通じて実感しました。

Caitie Alexander ケイト アレクサンダー（米国・コネチカット大学）
（平成27（2015）年5月1日～7月31日：ドーン財団インターンシップ参加）

ドーン財団

財団がドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを込め、設立20周年を記念して平成26（2014）年度に決めました。「ドーンセンター」は、平成6（1994）年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語Dawnと、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。

賛助会員募集中

賛助会員の皆さまには、当財団が実施している事業の案内をお届けするほか、当財団が指定する事業に会員割引で参加できるなどの特典があります。詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

<http://www.dawn-ogef.jp/support/index.html>

財団に関する最新情報はホームページでご案内しています。

[ドーン財団] で検索。

→<http://www.dawn-ogef.jp>

ドーン財団

検索

デザイン・レイアウト メディアアイランド

編集・発行 ドーン財団（一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団）

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

TEL：06-6910-8615 FAX：06-6910-8624

<http://www.dawn-ogef.jp>

発行日：平成27（2015）年10月31日